

武田一族の活躍と峡東在地の武士

所要時間(往復)

徒歩 2時間

車 20分

甲州市

塩山



⑬ 恵林寺

鎌倉末期、元徳二年(1330)、二階堂道胤(貞藤)が夢窓疎石を招いて創建した。戦国時代には武田信玄が自らの菩提寺とし、死後、葬儀が行われた。天正十年(1582)、織田・徳川軍の侵攻を受け、焼き討ちに遭うが、その後再建された。恵林寺庭園(国名勝)、四脚門(国指定重要文化財)の他、信玄の生前の姿を映したとする武田不動尊(県指定有形文化財)等がある。



⑬ 恵林寺

⑭ 於曾屋敷

於曾氏の屋敷跡と伝わる。於曾氏は、古代豪族三枝氏の分流であったが、三枝氏が衰退し、安田義定が滅んだ後、甲斐源氏・加賀美遠光の四男光経と五男光俊が於曾氏を名乗り、この地に移ったとされる。戦国時代には、武田家臣板垣氏が於曾氏を継承した。二重土塁の一部が現在も確認できる。県指定史跡。



⑭ 於曾屋敷

⑮ 菅田天神社

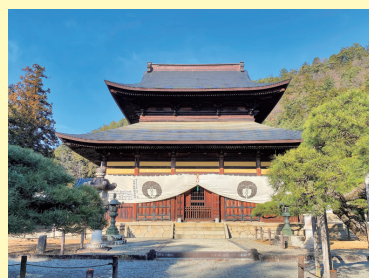
武田氏代々の鎮守として崇敬された。甲府の鬼門を守るために、武田氏相伝の重宝である楯無鏡(国宝)が納められた。



⑮ 菅田天神社

⑯ 向嶽寺

康暦二年(1380)、安芸武田氏から甲斐に入国した武田信成が寺地を寄進し、開基となった。開山は拔隊得勝、山号は「塩山」。武田氏代々により篤く保護を受ける。国宝の「絹本着色達磨図」などの文化財を有する。なお、建物内部や庭園は非公開。



⑯ 向嶽寺

⑰ 慈徳院(武田信春館跡)

信成の跡を継いだ甲斐守護信春は、千野に館を構えた。応永二十年(1413)、国内の争乱により萩原山の柳沢に逃れたが、その地で没する。その後、信春の遺命により館跡に菩提寺となる慈徳院が建立された。



⑰ 武田信春の墓(慈徳院)